

【What's 類型】 参照：「令和2年度版 とっとり ICT 活用ハンドブック」 鳥取県教育委員会

今回の類型は…「C2」です。「C2」は自分の考えを交流する場面で、主に個人学習の後グループ交流で意見を持ち寄る場面が多いです。この図は文部科学省の「学びのイノベーション事業」実証研究報告書を引用。

ここが  
POINT

- ・本時の課題に対して考えを持ち寄り、自分たちのグループの意見をまとめる。お互いの画面を見比べて比較したりする。
- ・意見の違いを恐れず、違うことの原因を調べながら、最終的には合意できるように根拠をもって話し合いを進める。

《ICT！（いまこそ、チェックタイム）》

- 普段から班での話し合いができるように指導している。
- 意見を比較させて共通点や相違点をもとに話し合いを行うように指導している。
- 話し合いのルールを確認してからグループ協議をさせている。
- 疑問に思うことは話し手に伝えて、それをもとに話し合いを進めさせている。
- 児童の反応を見ながら、望ましい姿をほめたり、クラスに紹介したりしている。

## ▶C2：協働での意見整理



複数の意見・考えを議論して整理

## 【ICT 活用実践紹介】

【花里小 ○○先生の実践】

教科：総合

活用ツール：「metamojiclassroom」

類型：B4（個別学習：表現・制作）

内容：五色ヶ原調べ学習のリーフレット

1. 【児童】「ノート」に調べたことを文章で打ったり、画像を挿入したりして表現をする。
2. 【担任】モニタリングで児童の「ノート」を表示
3. 【担任】児童の「ノート」をPDFでノートPCのデスクトップに送る。
4. 【担任】PDFを印刷すると、パソコン室のプリンターから出てくる。

備考：メタモジから直接印刷することもできるが、小さくなってしまうため、PDFのページサイズ処理を行うとよい。

今回は「ノート」  
を印刷



詳しい方法は、岡田まで

## 【岡田のおもいつ記】

今回の【What's 類型】の《ICT！（いまこそ、チェックタイム）》のコーナーの項目を見ると、ICTというよりは、今まで行っていた話し合いの確認がほとんどです。ICTだから特別なことを行うのではなく、今までの教育活動も大切にできるといいです。